



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番89号
東奥日報社

©東奥日報社 2018

インターネット
号外

ご購入のお問い合わせは
東奥日報社販売局



0120-46-5939

ヨム

コウドクサンキュー

24時間受付

羽生「金」

66年ぶり連覇

宇野は「銀」

【平昌共同】平昌冬季五輪第9日の17日、フィギュアスケート男子で羽生結弦(23)が優勝し、ANAが優勝し、

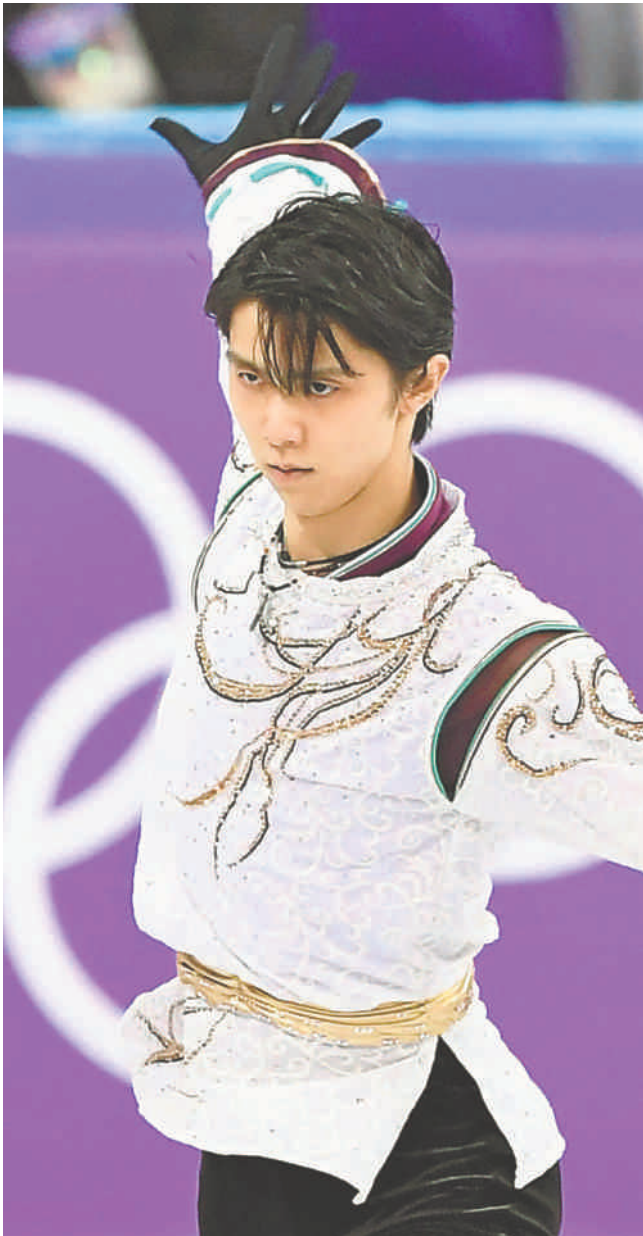
66年ぶりの2連覇を達成した。初出場の宇野昌磨(20)も2位になり、フィギュアで初めて複数の日本選手が同時に表彰台に立った。

平昌五輪 フィギュア

羽生は今大会の日本選手団の金メダル第1号で、日本の冬季五輪の「金」は通算11個となった。

羽生は初出場の2014年ソチ五輪でフィギュア日本男子初の金メダルを獲得した。世界選手権を14、17年に制し、グランプリ・ファイナルは16年まで4連覇。ショートプログラム、フリー、合計の歴代最高得点を何度も塗り替え、世界をリードしてきた。

昨年11月に右足首を痛めた影響で平昌五輪出場が危ぶまれたが、ピンチを乗り越えて、再び栄冠に輝いた。



男子フリーで演技する羽生結弦 江陵

詳細は18日付朝刊で